

「ランドセル 何色がいいかは 子が決める」 遊びながらジェンダー問題の理解を深める 学生考案の「ジェンダーギャップを考えるカルタ」 国際女性デーの日より、大学HPからダウンロード

帝塚山大学(学長:蓮花一己 所在地:奈良市
帝塚山7-1-1)法学部法学科の末吉洋文教授(専
門:国際法、平和学)のゼミ学生10名(2年生)
が、遊びながらジェンダー問題の理解を深めら
れる「ジェンダーギャップを考えるカルタ
(GGKK)」を考案しました。

末吉ゼミの学生は、2020年度後期のゼミで、
SDGsの目標のひとつ「ジェンダー平等の実現」
をテーマに研究や発表に取り組んできました。
ゼミでの学びを通じてさまざまな価値観に触れ
る中、学生は、若い人たちにジェンダー問題へ関
心を高めてほしいとの思いから、「カルタ」を発

案。カルタを通じてジェンダーギャップへ関心を向けてもらうことを目的として、国際女性デー(3月8日
(月))から、印刷データを本学ホームページ(大学トップページニュース)より自由にダウンロードできるよ
うにします。

研究成果をまとめた冊子データ「ジェンダーギャップの解消を目指して」(PDF:全58ページ)の付録として
収録した「ジェンダーギャップを考えるカルタ」は、「あ」から「を」までの45枚。

「いくメン 言うてるうちは ジェンダー後進国」「つとめて(勤めて)いるのは 専業主婦も また同じ」
「ランドセル 何色がいいかは 子が決める」など、ジェンダーに関する時事性のある話題から普遍的な問
題までを、学生ならではの視点で幅広く取り上げています。取り札の裏面には、ジェンダー問題の知識を深
められるよう、詳しい解説を記載。また、「議論」と書かれたカードが出た場合は、プレイヤーにそのカードに
書かれた問題について議論を促すルールとし、SDGsを学ぶ授業でのグループワークやディスカッション
など、教育現場で活用できるように工夫されています。

貴社メディアにおかれましても、ぜひ趣旨をお汲み取りいただき、取材ならびに報道のご協力をよろしく
お願い申し上げます。

男女平等 明記されている けんぽうにも	女性が増えてきたけど まだ少ない こうしよう先生も	この説明 小中学校の校長・教頭の女性の割合は18.6%。2019年5月の内閣府の調査による。また、2020年の学校基本調査によれば、大学の男女は674名、女性は99名となっている(女性比率は13%)。女性の学長は国立大学3名、公立大学20名、私立大学76名となっている。	けの説明 憲法第十四条は「すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない」と規定する。婚姻に関する第二十四条にも婚姻が両性の合意のみに基いて成立することや夫婦が同等の権利を有することが明記されている。
「さききゅうとります」 に対しては「おめでどう！」が正解	バアドやバダールという名の 悪しき慣習 しってる？	しの説明 アフガニスタンやパキスタンではバアド(バシュトゥーン民族)、女性をトラブ解決のために差し出す。バダールは交換婚。アフガニスタン民法では、16歳での結婚は認められているが、ユニセフ(国連児童基金)などは18歳未満での結婚、またはそれに相当する状態にあることを児童婚と定義しており、世界では、約7億5,000万人を数える。	さの説明 マタニティマークとは、特に妊娠婦自身が身に付け、妊娠中であることを示すためのマークを指す。妊娠中の方に安全・安心な妊娠・出産を確保するには、各種交通機関や職場、飲食店などにおける優先的な席の確保や受動喫煙の防止など、周囲の方の理解が必要である。

ジェンダーギャップを考えるカルタ

取材および
内容に関する
お問い合わせ

帝塚山大学 入試広報課 〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1
Tel:0742-48-9149 E-mail:koho@jimmu.tezukayama-u.ac.jp(担当:鈴木)

